

# 春のよき日



文責(校長 白濱忠昭)

## 1 運動会も「親・親あいさつデー」をお願いします。

総合教育センターで研修を終え、駐車場として使わせていただいていた清水小学校に向かっている時、下校中の高学年の子どもたちとすれ違いました。黄色の帽子をかぶり、「こんにちは」とあいさつを交わす子どもたちに、ホッとした気持ちを抱きました。なぜでしょう。それは、私が清水地区で育ち、これからも清水地区に住み続ける人間だからです。その地区の子どもたちが、健全に育っていることは、その地区の将来に安心感を抱くことになると思います。

さて、私が勤める春日小の子どもたちは、春日地区の地域の方に、そうした安心感を抱かせているのでしょうか。そんな自問自答をした数日後、嬉しいことが2つありましたので紹介します。

1つ目は、妻が食事会をした際に、春日地区に住む方から、「最近春日小の子どもたちが、妙にあいさつするんですよ。」と話題になったということです。この「妙に」という言葉がとても気に入りました。これまではその方が気づかなかったことを、一人の子だけでなく複数の子に感じられての言葉と思います。また、その時期が、保護者の方と「あいさつチェックカード」に取り組んだ頃と一致するのです。皆さんの頑張りが、地域の方に伝わっているのですね。これからも継続できるように、お互い声をかけあいましょう。少しずつですが子どもたちは意識を高めています。



2つ目は、子どもたちが運動会を盛り上げるために取り組むことの一つに、「運動会の時は、地域の方々に大きな声であいさつをする。」と「児童会だより」に取り上げていることです。運動会を体育の発表の場だけにとらえず、身に付けつつあるあいさつの習慣を発揮する場ともとらえてのことと思います。私たち大人も、あいさつを交わし合うことを意識し、子どもたちのお手本となるような後ろ姿を見せていきましょう。



マナーを守って応援しましょう。そして、それを見た子どもたちに、この地域に住み続けたい、この地域に戻ってきたいという意識を高めさせていきましょう。

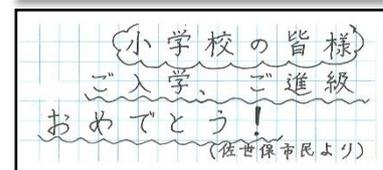
ご支援・ご協力、どうぞよろしくをお願いします。

## 2 地域等からのメッセージ

これは、ベルマークを集める箱に入っていたメッセージカードです。地域の方が、春日小の子どもたちのために集めてくださったベルマークと共に入れていただいたものと思います。新年度を迎えた子どもたちに向けてのメッセージはありがたいものです。こうした声に応えるがごとく、全校的には、昨年度末と比べ、落ち着いた生活が続いています。学校から縁遠くなられても、地域の方がこうして心をつなぎ続けてくださることに感謝します。ご協力いただいた地域の方、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

また、日頃から、社会体育等で学校施設を利用される皆様には、運動場の整備や体育館の清掃等、大変お世話になっています。特に今回、「春日小ジュニア」及び試合に来られた他チームの保護者の皆さんに、体育倉庫横の側溝の泥上げやクスノキの落葉の清掃をしていただきました。運動会前、梅雨入り前に、本当に助かりました。ありがとうございます。(学校HP「今日の春日っ子」5/14でも紹介)

こうした事例から、春日小学校が地域の中に位置し、地域や保護者の皆さんから支えられながら存在することやそこから聞こえてくる春日っ子への願いをあらためて実感した次第です。今後も、こうした地域や保護者、学校のつながりが、より多岐に、より深く、より強固なものとなるように、心がけていきます。



<きれいになった側溝>

## 3 継続して「あいさつ標語」を紹介します。

連休前に募集した「あいさつ標語」を数回に分けて紹介していきます。作品を親子で話題にされ、あいさつへの意識が継続できることを願っています。なお、応募多数のため、1家族1作品の紹介となりますことをご了承ください。

- あいさつは ぼくから始める 元気よく! (5年、6年 K親子)
- 礼儀よく あいさつ交わす 元気な子 (5年 H親子)
- あいさつは みんなのところに 笑顔よぶ (1年、5年 S親子)
- あいさつは 笑顔で過ごせる 一日の鍵 (3年、5年 I親子)
- あいさつで 心ほっこり 笑顔咲く (1年、5年 H親子)

..... 切り取り .....

※ ご意見、ご感想がありましたら、子どもたちを通して、ご連絡ください。